

— ご挨拶 —

この度、Advanced Medical Imaging 研究会(Society of Advanced Medical Imaging: 略称SAMI)を立ち上げることとなり、第一回の当番会長を務めさせていただきます。

この研究会は、全領域の最先端の画像研究および画像機器・放射線関連医薬品の進歩の情報を共有することにより、画像診断に関する知識を幅広く身につけることを目的としています。例えば放射線科医の場合、日本医学放射線学会は主に専門分野の知識を深く掘り下げて議論していく会であり、JCRのミッドサマー・ウインターセミナーは基本的な知識を広く学ぶ会であるのに対し、この研究会は最新の知識を広く学ぶための会という立ち位置になると思います。幹事・世話人は全国の施設から60人程度の先生方に加わって頂き、ALL JAPNの会になっています。

研究会の構成は、10～15分の発表を連ねた”機器・ソフトの進歩”、”各領域の進歩”、”改訂されたガイドラインの紹介”、”放射線関連医薬品の進歩”、ランチョン・サテライトセミナー、及び30分枠の講演として”先人からの提言”、特別講演、会長講演、そして公募演題である”日本発の論文紹介”、一般演題ポスターよりなっています。

“機器・ソフトの進歩”ではユーザから見た最近の各モダリティの進歩を紹介してもらい、“各領域の進歩”では広く皆が知っておいたほうが良いと思われる最新のインパクトのある論文を2、3本ずつ紹介して頂きます。演者には第一線で活躍するメンバーが揃っています。”改訂されたガイドラインの紹介”では、ACRのガイドライン、取り扱い規約、CTの診断参考レベル、死後画像読影ガイドラインを取り上げます。“放射線医薬品関連の新しい話題”には、ガドリニウム脳内蓄積を始めとした新知見、マクロ環造影剤の新製品、神経内分泌腫瘍用の放射線医薬品、IVR塞栓物質が含まれています。ランチョンセミナーとサテライトセミナーでは、各企業にこの1、2年の新製品の中で最もアピールしたいものを紹介してもらうようにしています。この研究会を何回か聞いていけば、各企業がどのような方向性を目指しているかが把握できてくるのではないかと思います。

“先人からの提言”は、福井大学の伊藤春海先生より「45年間の肺の形態研究を通じて思うこと」というタイトルで、研究を通じて考えられてきたことや後輩に託されたいと思うことをお話し頂きます。特別講演は、山口大の木戸先生より「人工知能の最前線から見たコンピューター支援診断」というタイトルで人工知能を用いた読影支援がどこまで進んでいるのかをお話し頂く予定です。会長講演では、初回ですのでこの研究会の立ち上げの経緯とこの会の趣旨を話させて頂き、続いてCTのこれまでの進歩と現状も取り上げさせていただきます。

“日本発の論文紹介”は、2014年と2015年に発表された最新の論文を公募で募り、著者自身に内容を発表してもらいます。日本人の業績をお互いに知り、引用し合うことで価値を高めて世界に発信していくことを目的としています。また、“日本人の書いた総説論文”が抄録に載せてあります。これも公募で集めたものですが、口演としてのセッションには含まれてはおらず抄録のみに記載されています。皆様に引用して頂き、日本人の総説の価値を高めてもらうことと、現在各領域のオピニオンリーダーとなっている日本人が誰かを知ってもらうことが目的です。

日常診療の観点からも研究の観点からも学べるような研究会になると思います。また、急速に進歩するヘルスケアの時代、人工知能の時代を迎え、新しい時流に放射線医学はどのように向かい、対応していくのかをこの研究会を通じて考えていけるようになるとうれしく思っております。

2016年(平成28年) 7月吉日

Advanced Medical Imaging 研究会 (SAMI 2016)

当番会長 陣崎 雅弘

(慶應義塾大学医学部 放射線科学教室(診断) 教授)

1. 総合受付

1) 日 時

2016年7月30日(土) 12:00～18:00

31日(日) 8:00～14:30

2) 場 所：東京コンベンションホール

〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン5F

TEL : 03-5542-1995

URL : <http://tokyo.conventionhall.jp/>

3) 参加登録受付方法

「事前参加登録」と「当日参加登録」で窓口が分かれております。

受付時に名札兼出席証明書・領収証およびプログラム抄録集をお渡しいたします。

・事前参加登録済みの方

メールにてお送りしております「事前参加登録完了のお知らせ」を印刷して該当窓口までご持参ください。

・当日参加の方

当日参加受付にて参加費をお支払いください。

参加費

	事前参加登録費	当日参加登録費
医師・企業	8,000円	10,000円
メディカルスタッフ 後期研修医・大学院生	5,000円	6,000円
初期研修医	1,000円	2,000円

4) アナライザーシステムを使うセッションについて

各領域の進歩1 (7月30日(土)15:40～17:20)

各領域の進歩2 (7月31日(日) 9:00～10:40)

上記セッションにおきましてアンサーパッドを使用し会場の皆様が参加型で楽しみながら、討論できる場を予定しております。

アンサーパッドは開始前に座席の上に置かれておりますので、上記セッションの際にご利用ください。

なお、アンサーパッドについてはセッション終了時に回収いたしますので、忘れずにご返却ください。

2. 座長・演者の先生へ

「座長・演者受付」にお越しください。

1) 座長

・セッション開始15分前までに、会場内右前方「次座長席」へお着きください。

・セッションの終了時間を厳守してください。

2) 演者

- ・発表の30分前までにPC受付にて発表データのチェックを行ってください。
混雑が予想されますので、PC受付が開いている時に随時、前もって行っていただきますようご協力をお願いいたします。
- ・PC受付での発表データの修正作業は、準備進行の妨げになりますのでご遠慮ください。
・セッション開始15分前までに会場内左前方「次演者席」へお着きください。
- ・PC本体お持込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席までご自身でお持ちください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で演台上に設置されているキーボード及びマウスにて操作していただきます。

【ご発表機材について】

<データをお持ち込みの方>

- ・PC（パソコン）での発表のみ可能です。プロジェクターは1台のみの使用となります。
会場ではWindowsのPowerPointをご用意いたします。
データはWindows PowerPointのみとし、CD-R、DVD-RまたはUSB フラッシュメモリのメディアにてご持参ください（CD-RW、DVD-RWは不可）。
- ・ご発表用アプリケーションについては以下のバージョンをご用意いたします。
Windows PowerPoint:2010、2013、2016
※ Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをお持ち込みください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧めいたします。
推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。
ファイル形式は、WindowsについてはWindows Media Playerで動作するファイル形式で
ご用意ください。（推奨:WMV）
※ AVIはCODECによって再生できない場合があります。
- ・動画ご使用の場合は、ご自身のPCをお持ちいただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・セッションの進行に影響が出るため、発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、会終了後にコンピューターより消去いたします。

<PC本体を持参される方>

- ・PC持込の場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。



- ※HDMIやMini DisplayPortなどD-sub 15ピン以外の接続はお受けできません。
- ・画面サイズ(解像度)はXGA (1024×768)となります。
- ・この環境で画面の全てが不具合無く表示される事を予めご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。
- ・スクリーンセーバ、省電力モード、パスワード設定(Macはホットコーナーも)を解除しておいてください。
- ・再起動することがありますのでパスワード入力は不要に設定をお願いいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・セッションの進行に影響が出るため、発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。

3. ポスター展示について

1) ポスター展示会場：

東京コンベンションホール
中会議室 I-A

2) 受付

第1日目の7月30日(土)14:00までにポスター展示会場にてポスター受付をお済ませください。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、受付時にお渡しするマジックテープを利用して掲示してください。

3) ポスターディスカッション

日時:7月30日(土)17:50～18:10

7月31日(日)11:10～11:30

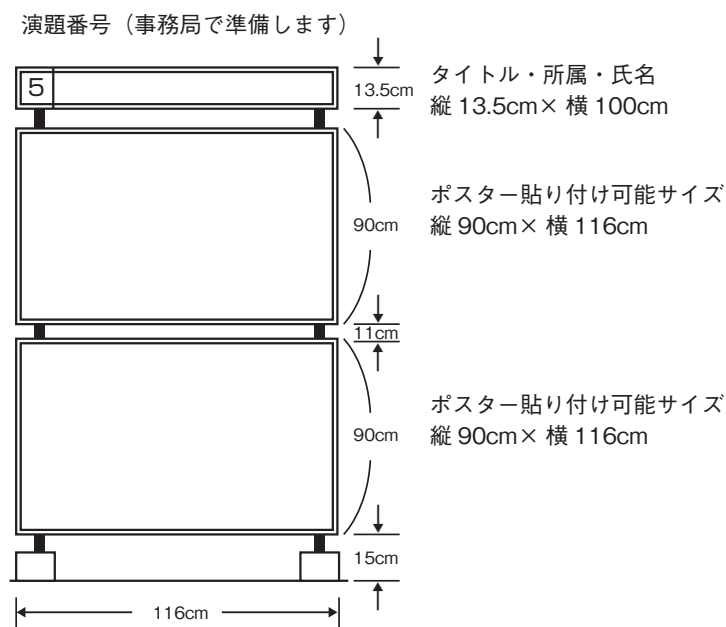
上記日時にて、ポスターディスカッションを行います。

ポスターディスカッションに関して座長の設定や口演発表は行いませんが、ご自身のポスターの前で待機して、質問等ありましたら対応してください。

4) 公募の一般演題(ポスター)の中から優秀な演題に対して大会長賞が授与されます。

7月31日(日)15:35～の閉会の辞の際に発表がありますのでご参加ください。

5) 全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後30分経過しても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。



4. 幹事会

日 時:2016年7月30日(土) 17:50～18:10

場 所:東京コンベンションホール 5階 「小会議室B」

5. 世話人会

日 時:2016年7月30日(土) 19:00～19:30
場 所:東京コンベンションホール 5階 中継会場「中会議室ⅡABC」

6. 事務局連絡

日 時:2016年7月31日(日) 12:20～12:30
場 所:東京コンベンションホール 5階 口演会場「大ホール」

7. クローク

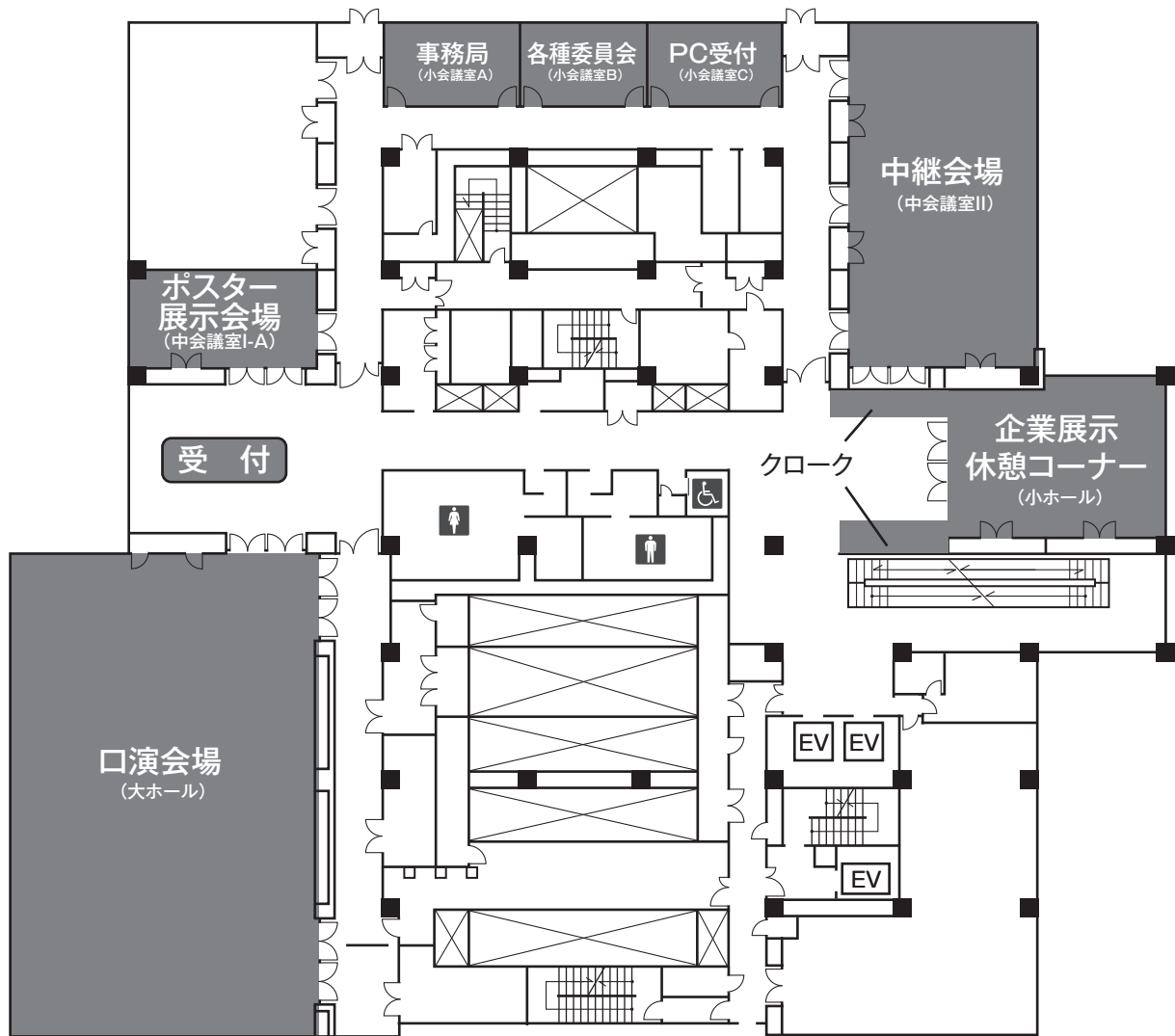
日 時:2016年7月30日(土) 12:00～19:30
2016年7月31日(日) 8:00～15:30
場 所:東京コンベンションホール 5階 「小ホール前ホワイエ」

8. 次回研究会(SAMI 2017)

日 時:2017年7月22日(土)～23日(日) 予定
会 場:ホテルエルセラーン大阪 (大阪市北区堂島1丁目5番25号) 予定
当 番 会 長:村上 卓道 近畿大学医学部 放射線医学教室放射線診断学部門 教授

— 会場フロア図 —

東京コンベンションホール 5F



— プログラム —

【1日目】 2016年7月30日(土)

13:00～13:05 開会の辞

13:05～14:25 機器・ソフトの進歩

US	<座長> 東野 英利子 (つくば国際プレストクリニック)
	<演者> 平井 都始子 (奈良県立医科大学附属病院総合画像診断センター)
CT	<座長> 辻岡 勝美 (学校法人藤田学園藤田保健衛生大学 放射線学科)
	<演者> 小林 泰之 (聖マリアンナ医科大学 画像診断部門・IVR部門)
MR	<座長> 高橋 哲 (神戸大学医学部附属病院 放射線部)
	<演者> 高原 太郎 (東海大学医用生体工学科)
核医学	<座長> 今林 悦子 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター)
	<演者> 栗原 宏明 (国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院放射線診断科)
IVR	<座長> 金澤 右 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学)
	<演者> 山門 亨一郎 (兵庫医科大学・放射線医学教室)
治療	<座長> 茂松 直之 (慶應義塾大学医学部放射線科学教室)
	<演者> 松尾 幸憲 (京都大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学)
CAD/PACS	<座長> 小林 泰之 (聖マリアンナ医科大学 放射線医学講座)
	<演者> 片平 和博 (熊本中央病院 放射線診断科)

14:25～15:25 放射線関連医薬品の新知見

	<座長> 林 宏光 (日本医科大学 放射線医学)
F-01	ガドリニウム造影剤の脳内蓄積：現状と課題 神田 知紀 (帝京大学医学部放射線科学教室)
	【共催】 富士製薬工業株式会社
F-02	ガドブトロールに関する最新情報 三森 朋行 (バイエル薬品株式会社メディカルアフェアーズ本部)
	【共催】 バイエル薬品株式会社
F-03	DEBを用いた新しいTACE 小泉 淳 (東海大学医学部画像診断学)
	【共催】 エーザイ株式会社
F-04	オクトレオスキャンの新展開 金田 朋洋 (横浜市立大学大学院医学研究科放射線医学)
	【共催】 富士フィルムRIファーマ株式会社

15:25～15:40

休憩

脳神経	<座長> 青木 茂樹 (順天堂大学大学院医学研究科 放射線医学)
	<演者> 堀 正明 (順天堂大学医学部放射線診断学講座)
頭頸部	<座長> 尾尻 博也 (東京慈恵会医科大学放射線医学講座)
	<演者> 加藤 博基 (岐阜大学医学部 放射線科)
胸部	<座長> 富山 憲幸 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学)
	<演者> 梁川 雅弘 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座)
乳腺	<座長> 東野 英利子 (つくば国際プレストクリニック)
	<演者> 戸崎 光宏 (相良病院附属プレストセンター 放射線科)
心臓	<座長> 汲田 伸一郎 (日本医科大学 放射線医学)
	<演者> 北川 覚也 (三重大学医学部附属病院中央放射線部)
脈管	<座長> 高瀬 圭 (東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野)
	<演者> 竹原 康雄 (浜松医科大学 放射線科)
肝臓	<座長> 西江 昭弘 (九州大学大学院医学研究院 臨床放射線科学分野)
	<演者> 祖父江 慶太郎 (神戸大学医学部附属病院 放射線部)
放射線治療	<座長> 大西 洋 (山梨大学医学部放射線医学講座)
	<演者> 木村 智樹 (広島大学病院 放射線治療科)

17:20～17:50 先人からの提言

45年間の肺の形態研究を通して思うこと

<座長> **富山 憲幸** (大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学)
伊藤 春海 (福井大学高エネルギー医学研究センター パナソニック工学研究部門)

17:50～18:10 ポスター閲覧

18:10～19:00 サテライトセミナー 各企業の新たな展開

SS-01 微細血流 SMIの現状と今後

[共催] 東芝メディカルシステムズ株式会社

<座長> **吉満 研吾** (福岡大学医学部 放射線医学教室)
堀江 康德 (東芝メディカルシステムズ株式会社)

SS-02 IQon Spectral CTのご紹介

[共催] フィリップスエレクトロニクスジャパン株式会社

菅原 崇 (株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン)

SS-03 頭部領域のMRI最新アプリケーション

[共催] フィリップスエレクトロニクスジャパン株式会社

松本 淳也 (株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン)

SS-04 日立製作所、ヘルスケアビジネスへの取り組み

[共催] 株式会社日立製作所

河野 敏彦 (株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニット)

SS-05 次世代PACS SYNAPSE

[共催] 富士フイルムメディカル株式会社

石川 貴洋 (富士フイルムメディカル株式会社ITソリューション事業本部)

[2日目] 2016年7月31日(日)

9:00～10:40 **各領域の進歩2**

アナライザー

胆膵	<座長> 蒲田 敏文 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 放射線科学) <演者> 小坂 一斗 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 放射線科学)
消化管	<座長> 白神 伸之 (東邦大学医療センター大森病院放射線科) <演者> 南 学 (筑波大学 臨床医学域 放射線医学)
泌尿器	<座長> 楫 靖 (獨協医科大学 放射線医学講座) <演者> 竹内 充 (ラジオロネット東海)
婦人科	<座長> 山下 康行 (熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野) <演者> 辻川 哲也 (福井大学 高エネルギー医学研究センター)
骨軟部	<座長> 新津 守 (埼玉医科大学 放射線科) <演者> 上谷 雅孝 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線診断治療学)
救急	<座長> 船曳 知弘 (済生会横浜市東部病院 救命救急センター) <演者> 近藤 浩史 (帝京大学医学部 放射線科学教室)
小児	<座長> 野坂 俊介 (国立成育医療研究センター 放射線診療部) <演者> 宮崎 治 (国立成育医療研究センター 放射線診療部)
全身疾患	<座長> 南 学 (筑波大学 臨床医学域 放射線医学) <演者> 松木 充 (近畿大学医学部放射線医学講座 放射線診断学部門)

10:40～11:10 **会長講演**

<座長> 杉村 和朗 (神戸大学大学院医学系研究科 放射線科学) 本研究会(SAMI)の立ち上げにあたって～2種類の知識～ CTの現状と展望	陣崎 雅弘 (慶應義塾大学医学部 放射線診断科)
---	---------------------------------

11:10～11:30 **ポスター閲覧**

11:30～12:15 **日本発の論文紹介1**

<座長> 栗井 和夫 (広島大学大学院放射線診断学)	
A1-1 320列CTと予測補間による冠動脈ダイナミック イメージと血流解析: 中等度狭窄における心筋虚血検出	長尾 充展 (東京女子医科大学画像診断学核医学講座)
A1-2 Feature Tracking Cine MRIの開発と 心機能評価への応用の可能性	河窪 正照 (帝京大学福岡医療技術学部診療放射線学科)
A1-3 80kVp CTによる多血性肝細胞癌検出に おける最小ヨード量に関する検討	五島 聡 (岐阜大学医学部附属病院放射線科)
A1-4 胃癌リスク評価におけるX線透視検査所見と ABC分類の関係	西江 昭弘 (九州大学 臨床放射線科学)

12:15～12:25 **事務局連絡**

12:25～12:30

休憩

12:30～13:30 ランチョンセミナー 各企業の新たな展開

<座長> 村上 卓道 (近畿大学医学部放射線医学教室 放射線診断学部門)

LS-01 The latest technology -MR&PET/MR-
【共催】 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

内海 一行 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)

**LS-02 変化し続けるシーメンズのIT製品紹介と
医用情報データを利用した新たな提案について**
【共催】 シーメンズヘルスケア株式会社

近藤 且久 (シーメンズヘルスケア(株)ダイアグノスティックイメー징事業部 SINGO課)

LS-03 Making the Invisible Visible
【共催】 株式会社島津製作所

青山 功基 (株島津製作所 医用機器事業部 東京支社)

LS-04 X線画像領域における新技術のご紹介
【共催】 コニカミノルタヘルスケア株式会社

岡本 雄平 (コニカミノルタ ジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー)

LS-05 ZIOSTATION2の心筋評価機能
【共催】 アミン株式会社/ザイオソフト株式会社

帆足 正勝 (アミン株式会社)

13:30～13:35

休憩

13:35～14:05 日本発の論文紹介2

<座長> 山下 康行 (熊本大学大学院生命科学研究部 放射線診断学分野)

**A2-1 定量的磁化率マップを用いたパーキンソン病
における黒質の鉄沈着分布の評価**

東 美菜子 (宮崎大学医学部放射線科)

**A2-2 β -catenin 変異型肝細胞癌の画像所見および
組織学的特徴の検討**

北尾 梓 (金沢大学附属病院 放射線科)

**A2-3 CTによる尿管癌のT因子診断:T2以下/T3以上の
選別を目的とした診断基準の提案に関する予備的研究**

本田 有紀子 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院 放射線診断科)

**A2-4 統計学的モデルを用いた拡散強調MRIによる
腎機能評価**

山田 謙太郎 (防衛医科大学校 放射線医学講座)

**A2-5 WDS(weighted diffusion subtraction) :
拡散MRIの新しい表示法**

押尾 晃一 (慶應義塾大学医学部放射線科学教室(診断))

14:05～14:35 特別講演

<座長> 中田 典生 (東京慈恵会医科大学 基礎・臨床講座 放射線医学講座)

人工知能の最前線から見たコンピュータ支援診断

木戸 尚治 (山口大学大学院創成科学研究科)

14:35～15:35 改訂ガイドラインの紹介

<座長> 村山 貞之 (琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座)

**G-01 American College of Radiologyの
appropriateness criteria**

隈丸 加奈子 (順天堂大学医学部 放射線診断学講座)

G-02 各疾患の取扱い規約

高橋 哲 (神戸大学医学部附属病院 放射線部)

G-03 CTの診断参考レベル

赤羽 正章 (NTT東日本関東病院放射線部)

G-04 死後画像読影ガイドライン

兵頭 秀樹 (北海道大学 死因究明教育研究センター)

15:35～15:40 閉会の辞

—— 一般演題（ポスター）一覧 ——

P-01	超高精細CT angiographyを用いた頭蓋内細動脈の描出能の検討	永田 紘之 (藤田保健衛生大学医学部放射線医学教室)
P-02	経頭蓋MRガイド下集束超音波装置による視床破壊術の当院におけるワークフロー 視床破壊術の標準化に向けて	堀 大樹 (新百合ヶ丘総合病院 診療放射線科)
P-03	Synthetic MRIによるMSブランクの検出能の評価	萩原 彰文 (東京大学大学院医学系研究科 放射線医学講座)
P-04	脳神経領域のMRI・CTフュージョン画像における非剛体レジストレーションの有用性	松島 大将 (杏林大学付属病院)
P-05	進行性核上性麻痺の診断における定量的磁化率マップの有用性	東 美菜子 (宮崎大学医学部放射線科)
P-06	悪性神経膠腫、悪性リンパ腫、髄膜腫の鑑別におけるDynamic contrast-enhanced MRIの診断能評価	村山 和宏 (藤田保健衛生大学医学部 放射線医学教室)
P-07	DaTSCANの定量化ソフトとSPECT/CTを用いた定量法の比較	横山 幸太 (国立国際医療研究センター病院放射線診断科)
P-08	CTラングサブトラクション法再構成画像がカテーテル治療に際し有用であった 慢性血栓塞栓性肺高血圧症の1例	小柳 正道 (杏林大学医学部付属病院)
P-09	320列冠動脈CTの至適撮影タイミング:大動脈時間濃度曲線による新たな決定法	白坂 崇 (九州大学病院 医療技術部 放射線部門)
P-10	Whole heart Dynamic CT画像に対する Time maximum intensity projection処理の冠動脈形態評価への応用	小島 幸 (九州大学病院医療技術部放射線部)
P-11	流体構造連成解析を用いたCT-FFR計算アプリケーションの再現性の検討	李 慶賢 (順天堂大学医学部放射線科)
P-12	時間的部分体積効果 (TPVE) とリングROI法を用いた石灰化の体積測定について	山際 寿彦 (藤田保健衛生大学大学院 保健学研究科)
P-13	経カテーテル大動脈弁置換術(TAVR)術前CTにおける大動脈弁輪径の計測評価	新保 博彦 (群馬県立心臓血管センター 放射線科)
P-14	小児心臓CTにおけるKnowledge-based Iterative Reconstructionの有用性	福山 直紀 (愛媛大学医学部放射線科)
P-15	IVR-ADCTを用いたバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(B-RTO)について	花岡 良太 (藤田保健衛生大学医学部放射線科)
P-16	大腸カプセル内視鏡の前処置におけるひまし油併用の検討	堀田 直樹 (増子記念病院肝臓内科)
P-17	当院における副腎腺腫ラジオ波焼灼術の初期経験について	小黒 草太 (慶應義塾大学医学部放射線科学教室(診断))
P-18	4D画像補完ソフトウェアの動態補完精度に関する研究 ~物体の移動速度、大きさ、形状、CT値の変化~	富田 羊一 (名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院 放射線科)
P-19	画像再構成関数の変化によるMPR画像診断の注意点 (X-Y方向とZ軸方向の空間分解能の違い)	後藤 悠太 (藤田保健衛生大学 医療科学部 放射線学科)
P-20	BWIBSの臨床応用:初期経験について	信澤 宏 (川崎幸病院放射線診断科)